

三寒四温と言いますが、2月は夏日があつたり、降雪があつたり、気温差の大きい月でした。3月は、冬と春の境目の季節にあたります。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉もある通り、この春分の日周辺から本格的な春の暖かさが始まりますが、暖冬と言われる近年どうなのでしょう。3月はいろいろと行事の多い月です。年度替り（会計年度や学年など）の時期とされているため、卒業式や送別会が行われ、出会いと別れの時期とされています。主な行事（イメージ）と言えば「桃の節句（ひな祭り）」「東大寺のお水取り」「十三参り」「ホワイトデー」?、「春分の日・お彼岸」「春の甲子園」「お花見」等々ウキウキします。でも、この時期 辛い人も多いですね『スギ花粉による花粉症』皆さん元気に過ごしましょう！



「自治会」からのご連絡

- 3月11日（月）牛久三中卒業式、15日（金）二小卒業式へ会長出席
  - 第2つつじが丘自治会 令和5年度定期総会開催【3月24日（日）10：00～12：00 区民会館 ホール】
    - 3/9(土) 定期総会資料班長宅へお届け。「出席、議決権行使届」班長は3/15(金)まで提出お願いします。
    - 自治会・自主防災会活動報告及び専門部部門編成見直しに関する報告事項及び2024年度活動計画（案）説明
    - 自治会会計決算報告及び2024年度会計予算（案）説明
    - 会則・細則変更に伴う説明・議決承認依頼及び2024年度活動計画、体制の説明・議決承認依頼 等々
- ◎その他、意見書の紹介・回答説明等自治会・自主防災会の活動に関する内容ですので是非出席お願いします。

● 受付が混みあうことが予想されますので余裕を持って来館をお願いします

【環境・会館施設部】からのご連絡

2024年（令和6年）3月の区民会館（室内・屋外）の清掃は、定期総会前に会場設営含め役員会で行います。

【環境部】からのご連絡

3月3日（日）牛久市クリーン作戦 午前 8時 より 30分ほど

◎各公園及び通学路の草刈り・清掃場所

公園の清掃			*二小通学路の清掃	
清掃の場所	担当班	責任者	担当班	責任者
第1街区公園	1地区1・2・3班	1地区3班 藤田	1地区4・5・6	1地区4班 渋谷
第2公園	2地区1・2・4班	2地区2班 土屋	2地区5・6	2地区5班 瀧川
第3公園	5地区1・2・5班	5地区2班 的崎	3地区1・2・3・4・5・6	
第4公園	4地区5班 5地区4・5・6班	4地区1班 山口	4地区1・3・4・6	2地区6班 今

皆さんの住む団地をキレイにする活動です！積極的に参加しましょう。

●交通・防犯部より 【令和6年春季全国火災予防週間】

3月1日（金）～7日（木）春季全国火災予防週間となります。

令和5年度防火標語『火を消して 不安を消して つなぐ未来』  
 火災が発生しやすい時季です。火災の発生を予防し尊い命を守り、財産の損失を防ぎましょう！

- ①ストーブ・コンロ等は安全装置の確認 ②住宅用火災警報器の定期点検（10年目安で交換） ③火災の拡大防止の為、室内の整理整頓に心掛け カーテン・寝具の交換時は防災品に買い替え ④初期消火（火災を小さいうちに消す）用に消火器等を設置し、使い方を確認して置く（消火器の設置場所を確認） ⑤避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。 ⑥防火訓練への参加・地域ぐるみのコミュニケーションをとる。（牛久広報より一部引用） ●牛久消防署 ☎029-873-0119

よもやま話「四方山話」 『地震・雷・火事・親父』とは

地震雷火事親父は、恐ろしいものを順番に列挙した言葉です。屋内外を問わず地震からは逃げられません。地震や雷に誘発される火事もあります、人々の用心によって火事は防げるケースもあります。地震・雷・火事といった災害と肩を並べる『親父』とは、昔の台風は『大山嵐（おおやまじ）』『大風（おおやじ）』と呼ばれいつしかこれが親父に変化したというのが「台風」説です。いい語呂合わせですね！



自治会 会員状況 (行政区)	2024年 2月 1日現在				2024年 2月 1日現在	
	2024年 2月現在 = 自治会会員数	転入/入会	転出/退会	訃報	発行編集	自治会総務部
	432 (世帯)	8	4	8		
	第2つつじが丘 令和6年 2月1日現在516世帯 男 533女593人 合計1,126人				市人口	世帯数
人口1,128人 = 65歳以上587人 (男261人、女326人) で高齢化率52.1%です。				84,015人	38,423世帯	

自治会の必要性をご理解の上、自治会維持のため「専門部」への入会をお願いします。

季節の変わり目起こる体調不良に注意「寒暖差による」「自律神経の乱れ」ストレスを溜めずに元気に過ごしましょう！

お知らせ掲示版 地震（災害）から命を守るために（茨城県広報紙よりひばり3月号より引用）

令和6年能登半島地震等の被害から

地震はいつ、どこにいるときに発生するかわかりません。「いざという時に」自分の身を守るために、各家庭で日頃から必要な『備え』をしておくことが大切です。【自主防災会で家庭に配布した「防災かわら版」も参考にしてください】

茨城県では地震被害想定を20年振りに、人口、建物分布、インフラの整備状況などの変化を踏まえ、最新の科学的知見とデータに基づき新たに地震被害想定調査を実施しました。茨城県に大きな被害をもたらす7つの想定地震を設定しました。

●そのうちの1つで、牛久市で当行政区周辺の茨城県震度予測マップを見てみました。\*広報紙ひばりのQRコード読み取り

地震名	想定観点
茨城県南部の地震	内閣府が想定した首都直下のマグニチュード7クラスの地震の中で県南地域に影響の有る地震
第2つつじが丘行政区範囲内は、想定震度 = 6弱となっている。	
つつじが丘行政区の市場周辺地域、ため池周辺、稲敷川等軟弱地周辺が、想定震度 = 6強となっている。	
『地震が起こる前からやって置くこと』	



◎ 住まいの地震対策：1981年(昭和56年)5月以前に建築された木造住宅は耐震診断を進めています。  
 \*県と市町村と連携して耐震化に対する支援を行っています。

◎ 持ち出し品の準備：季節毎に点検しましょう！ \*家族・同居人含め最低3日分を目安に！

◎ 避難場所の確認：避難場所・一次避難所・二次避難所 \*区民会館・二小体育館へのルート、時間を確認しましょう

【豆知識】 『春分の日』（自然をたたえ、生物をいつくしむ日）

春分の日「国民の祝日」にもなっていますが何をやる日なの知っていますか！春分の日は「自然をたたえ、生物をいつくしむ日」として定められています。「国民の祝日」とは、国民の祝日に関する法律（1948年（昭和23年）法律第178号）により、美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築きあげるために定められた

「国民こそぞて祝い、感謝し、又は記念する日」 令和6年（2024年）は、3月20日です。

一般的には「春分の日」は、昼と夜との長さが同じになる日と思っていますね。厳密にいうと実際には昼の方が少し長いそうです。

\*太陽が真東から昇り真西に沈む日で、昼と夜の長さがほぼ同じになる日（秋分の日も同じ）

春分の日と春分の違い：「春分の日」は、例年3月21日頃をさし、2024年は3月20日（水・祝）にあたります。

春分の日は3月21日の1日だけですが、春分：3月21日から4月4日までになるそうです。

二十四節気の「春分」については、清明の前日までの期間にあたります。清明（せいめい）とは清浄明潔（せいじょうめいけつ）という言葉で、略したもので、「全てのもが明るく清らかで生き生きとしている頃」という意味です。

春分の日は春分の初日である祝日の日だけになります。春分は次の二十四節気「清明」の前日までを指します。

この時期はお彼岸で、先祖を供養する日でもある。2024年の春のお彼岸は、3月17日が彼岸入り、3月20日の春分の日が中日で、3月23日が彼岸明けとなる。仏教では、川の向こう（彼岸）に、あの世である「悟りの世界」があり、こちらの岸（此岸）に自分たちがいる「煩惱の世界」があります。彼岸は西に、此岸は東にあると考えられています。

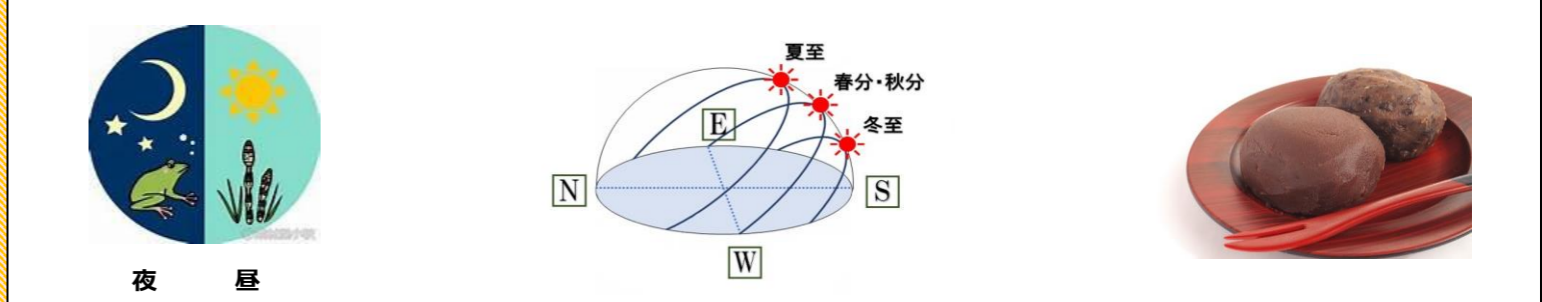
太陽が真東から昇って真西に沈む春分と秋分は、この世とあの世がもっとも通じやすい日とされたことから、この日にご先祖様を供養するお墓参りの日となったのです。この日に西に向かって拝むと、功德が施されるとも信じられました。

お彼岸のお供え物と言えば、牡丹餅とお萩です。春は牡丹、秋は萩と季節にちなんだ名前となっています。あんこの材料となる小豆は秋に収穫されるので、お萩は粒あんで、牡丹餅は固くなった小豆の皮を取り除いたこしあんで包むとされています。

「春季皇霊祭」と呼ばれる行事（\*毎年2回、春分の日と秋分の日（秋季皇霊祭）に斎行される大祭）

春分の日には、皇居の宮中三殿において春季皇霊祭が行われます。\*

第二次世界大戦以前、春分の日「春季皇霊祭」と呼ばれ、1908年(明治41年)9月19日制定の皇室祭祀令で大祭に指定された祝祭日でした。しかし、前記の通り、改正された祝日法で国民の祝日の一つとなりました。ですから春分の日、お彼岸の中日と同じ日ですが、仏事や神道とは全く関係のない国民の祝日なのです。現在の皇室は、明治の廃仏毀釈(はいぶつきしゃく)以降、仏教とは直接的なつながりはなく、基本的に神道だけです。今「春季皇霊祭」は、皇居の宮中の皇霊殿で行われる皇室の大祭で、毎年春分の日に、天皇みづから歴代の天皇・皇后・皇族などの皇祖の神霊を祀る儀式です。（興津々より引用）



「春季皇霊祭」と呼ばれる行事（\*毎年2回、春分の日と秋分の日（秋季皇霊祭）に斎行される大祭）

春分の日には、皇居の宮中三殿において春季皇霊祭が行われます。\*

第二次世界大戦以前、春分の日「春季皇霊祭」と呼ばれ、1908年(明治41年)9月19日制定の皇室祭祀令で大祭に指定された祝祭日でした。しかし、前記の通り、改正された祝日法で国民の祝日の一つとなりました。ですから春分の日、お彼岸の中日と同じ日ですが、仏事や神道とは全く関係のない国民の祝日なのです。現在の皇室は、明治の廃仏毀釈(はいぶつきしゃく)以降、仏教とは直接的なつながりはなく、基本的に神道だけです。今「春季皇霊祭」は、皇居の宮中の皇霊殿で行われる皇室の大祭で、毎年春分の日、天皇みづから歴代の天皇・皇后・皇族などの皇祖の神霊を祀る儀式です。（興津々より引用）